



薬剂委员会结果报告



2026年4月8日 開催

➤ 薬剂マスタ登録: 4月16日予定


院外採用医薬品

商品名	ウプトラビ錠0.2mg		
成分名	セレキシパグ	薬価	1587.3円／錠
メーカー	日本新薬株式会社 / ヤンセンファーマ株式会社		
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・肺動脈性肺高血圧症 ・外科的治療不適応又は外科的治療後に残存・再発した慢性血栓塞栓性肺高血圧症 		
用法・用量	<p>成人にはセレキシパグとして1回0.2mgを1日2回食後経口投与から開始する。忍容性を確認しながら、7日以上の間隔で1回量として0.2mgずつ最大耐用量まで増量して維持用量を決定する。なお、最高用量は1回1.6mgとし、いずれの用量においても、1日2回食後に経口投与する。</p> <p>2歳以上の幼児又は小児には、セレキシパグとして下表の開始用量を1日2回食後に経口投与する。忍容性を確認しながら、7日以上の間隔で、別表の増量幅で最大耐用量まで増量して維持用量を決定する。なお、下表の最高用量は超えないこととし、いずれの用量においても1日2回食後に経口投与する。</p>		
分類	選択的プロスタサイクリン受容体作動薬 普通薬	保管条件	室温保存
製剤写真			
	本体写真	PTP・包装写真	
粉砕	不可 不可の場合理由：メーカーDI情報	分包	可 不可の場合理由：
使用成績調査等対象品目	特定使用成績調査(慢性血栓塞栓性肺高血圧症のみ) ※2025年2月登録終了	流通備考	特になし
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 肝機能障害時の注意事項：重度の肝障害患者：禁忌。軽度又は中等度の肝障害患者（Child-Pugh スコア：5～9）：本剤の血中濃度が上昇する ✓ 腎機能障害時の注意事項：重度の腎障害（eGFR：15～29mL/min/1.73m²）のある患者（透析中の患者を含む）本剤の血中濃度が上昇することが認められている。また、透析中の患者を対象とした有効性及び安全性を指標とした臨床試験は実施していない。 ✓ 調剤・調製に関する注意事項：特になし ✓ レセプト上の注意事項：特になし ✓ その他：なし 		



院外採用医薬品

商品名	ウプトラビ錠0.4mg		
成分名	セレキシパグ	薬価	3155.3円／錠
メーカー	日本新薬株式会社 / ヤンセンファーマ株式会社		
効能・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・肺動脈性肺高血圧症 ・外科的治療不適応又は外科的治療後に残存・再発した慢性血栓栓性肺高血圧症 		
用法・用量	<p>成人にはセレキシパグとして1回0.2mgを1日2回食後経口投与から開始する。忍容性を確認しながら、7日以上の間隔で1回量として0.2mgずつ最大耐用量まで増量して維持用量を決定する。なお、最高用量は1回1.6mgとし、いずれの用量においても、1日2回食後に経口投与する。</p> <p>2歳以上の幼児又は小児には、セレキシパグとして下表の開始用量を1日2回食後に経口投与する。忍容性を確認しながら、7日以上の間隔で、別表の増量幅で最大耐用量まで増量して維持用量を決定する。なお、下表の最高用量は超えないこととし、いずれの用量においても1日2回食後に経口投与する。</p>		
分類	選択的プロスタサイクリン受容体作動薬 普通薬	保管条件	室温保存
製剤写真	 <p>本体写真</p>		 <p>PTP・包装写真</p>
粉砕	不可 不可の場合理由: 該当資料なし	分包	可 不可の場合理由:
使用成績調査等対象品目	特定使用成績調査(慢性血栓栓性肺高血圧症のみ) ※2025年2月登録終了	流通備考	特になし
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 肝機能障害時の注意事項: 重度の肝障害患者: 禁忌。軽度又は中等度の肝障害患者 (Child-Pugh スコア: 5~9) : 本剤の血中濃度が上昇する ✓ 腎機能障害時の注意事項: 重度の腎障害 (eGFR: 15~29mL/min/1.73m²) のある患者 (透析中の患者を含む) 本剤の血中濃度が上昇することが認められている。また、透析中の患者を対象とした有効性及び安全性を指標とした臨床試験は実施していない。 ✓ 調剤・調製に関する注意事項: 特になし ✓ レセプト上の注意事項: 特になし ✓ その他: なし 		


院外採用医薬品

商品名	ジャイパー力錠50mg		
メーカー	ピルトブルチニブ 日本新薬株式会社/日本イーライリリー株式会社	薬価	10,201円/錠
効能・効果	他のBTK阻害剤に抵抗性又は不耐容の再発又は難治性のマンテル細胞リンパ腫 他のBTK阻害剤に抵抗性又は不耐容の再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)		
用法・用量	成人にはピルトブルチニブとして200 mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。		
分類	可逆的非共有結合型BTK阻害剤 抗悪性腫瘍剤 劇薬	保管条件	室温保存
製剤写真			
	本体写真	PTP・包装写真	
粉砕	不可 不可の場合理由: 抗悪性腫瘍剤	分包	不可 不可の場合理由: 抗悪性腫瘍剤
使用成績調査 等対象品目	特定使用成績調査	流通 備考	一社流通 株式会社エス・ディ・コラボ
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 肝機能障害時の注意事項: 投与時の用量調節の規定なし、グレード3以上の副作用が発現した場合は休薬 ✓ 腎機能障害時の注意事項: 投与時の用量調節の規定なし、グレード3以上の副作用が発現した場合は休薬 ✓ 調剤・調製に関する注意事項: 特になし ✓ レセプト上の注意事項: なし ✓ その他: なし 		

院外採用申請医薬品

商品名	ブルキンザカプセル80mg		
成分名	ザヌブルチニブ	薬価	6636.1円／カプセル
メーカー	ビーワン・メディシNZ合同会社		
効能・効果	慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む) 原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫		
用法・用量	成人にはザヌブルチニブとして1回160mgを1日2回経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。		
分類	ブルトン型チロシンキナーゼ阻害剤) 抗悪性腫瘍剤、劇薬	保管条件	室温保存
製剤写真			
	本体写真		PTP・包装写真
粉碎	不可 不可の場合理由: 抗悪性腫瘍剤	分包	不可 不可の場合理由: 抗悪性腫瘍剤
使用成績調査等対象品目	該当なし	流通備考	1社流通 スズケン社
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 肝機能障害時の注意事項: 重度の肝機能障害(Child-Pugh分類C)のある患者本剤の減量を考慮するとともに、患者の状態をより慎重に観察し、副作用の発現に十分注意すること。 ✓ 腎機能障害時の注意事項: 該当なし ✓ 調剤・調製に関する注意事項: 該当なし ✓ レセプト上の注意事項: 該当なし ✓ その他: 2026年4月01日より、投薬期間制限が解除 		

仮採用医薬品

商品名	エジヤイモ点滴静注1.1g		
成分名 メーカー	スチムリマブ レコルダティ・レア・ディジーズ・ジャパン株式会社	薬価	244,074円／瓶
効能・効果	寒冷凝集素症		
用法・用量	成人にはスチムリマブとして、1回6.5g又は7.5gを点滴静注する。 初回投与後は、1週後に投与し、以後2週間の間隔で投与する。		
分類	抗補体(C1s)モノクローナル抗体 劇薬	保管条件	冷所保存
製剤写真			
	本体・包装写真		
使用成績調査 等対象品目	なし	流通 備考	一社流通 アルフレッサ社
特記事項	<ul style="list-style-type: none">✓ 肝機能障害時の注意事項: 本剤は抗体であり、肝臓から排泄されず、全身に分布する内皮細胞でのタンパク質分解による異化を介して消失するため、肝機能障害試験は実施していない。✓ 腎機能障害時の注意事項: 本剤は抗体であり、主にタンパク質分解による異化を介して消失するため、腎機能障害試験は実施していない。✓ 調剤・調製に関する注意事項: 次頁参照✓ レセプト上の注意事項: なし✓ その他: 本剤投与開始2週間前までに髄膜炎菌及び肺炎球菌ワクチンを接種すること。		

VIII. 安全性（使用上の注意等）に関する項目

11. 適用上の注意

14. 適用上の注意

14.1 薬剤調製時の注意

14.1.1 本剤は無菌的に調製を行うこと。

14.1.2 薬液の入ったバイアルを振とうしないこと。

14.1.3 薬液に微粒子及び変色がないか、目視検査を行い、変色あるいは異物を認めた場合は使用しないこと。

14.1.4 本剤は希釈しない方法又は希釈する方法のいずれかにより調製する。希釈しない場合は、必要量をバイアルから抜き取り、空の点滴バッグに加える。希釈する場合は、必要量をバイアルから抜き取り、日局生理食塩水を加えて、総量として 500mL になるように希釈する。

14.1.5 調整後は調整した溶液を室温に戻し、速やかに使用すること。なお、調製した溶液を直ちに使用しない場合は、2～8℃での保存では 48 時間以内に、常温保存では 16 時間以内に使用すること。ただし、投与前に室温に戻すこと。

14.1.6 バイアル中の残液は廃棄すること。

14.2 薬剤投与時の注意

14.2.1 0.22µm 又は 0.22µm のフィルターを使用すること。

14.2.2 同一の点滴ラインを使用して他剤を併用同時投与しないこと。

14.2.3 本剤の最大投与速度は以下を目安にし、急速投与は行わないこと。

希釈しない場合



体重 75 kg 未満：130mL/時、体重 75 kg 以上：150mL/時

希釈する場合

体重 70 kg 未満：250mL/時、体重 70 kg 以上：500mL/時

14.1.6 寒冷凝集素症では、自己抗体である寒冷凝集素が、低温条件下で I 抗原と反応し赤血球に結合して、古典的補体経路の活性化を誘発するため、希釈液を投与前に室温になるまで放置すること。

仮採用医薬品

商品名	リブロファズ配合皮下注		
成分名	アミバンタマブ(遺伝子組換え)	薬価	480,046円/瓶
メーカー	ボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え) ヤンセンファーマ株式会社		
効能・効果	EGFR遺伝子エクソン20挿入変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 EGFR遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌		
用法・用量	【A法】カルボプラチン及びペメトレキセドナトリウムとの併用において、3週間を1サイクルとし、アミバンタマブ 及びボルヒアルロニダーゼ アルファとして皮下投与する。なお、患者の状態により適宜減量する 【B法】ラゼルチニブメシル酸塩との併用において、4週間を1サイクルとし、通常、成人にはアミバンタマブ及びボルヒアルロニダーゼ アルファとして皮下投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。		
分類	抗ヒトEGFR及び抗ヒトMETヒト二重特異性モノクローナル抗体/ヒアルロン酸分解酵素配合剤 抗悪性腫瘍剤、劇薬	保管条件	冷所保存
製剤写真			
	本体写真	PTP・包装写真	
使用成績調査等対象品目	なし	流通備考	2社流通(株式会社メディセオ、アルフレッサ株式会社)
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 肝機能障害時の注意事項:なし ✓ 腎機能障害時の注意事項:腎不全(CLcr 15mL/min未満)の患者はアピキサバンは投与できないことから、ラゼルチニブとの併用投与は避け、他の治療選択肢を考慮すること。 ✓ 調剤・調製に関する注意事項:薬液入りシリンジを直ちに使用しない場合は、2~8℃で最長24時間まで、その後15~30℃及び室内光下で最長24時間まで保存できる。2~8℃で24時間を超えて保管した場合、又は15~30℃で24時間を超えて保管した場合は廃棄すること。 ✓ レセプト上の注意事項:EGFR遺伝子変異陽性を確認した検査の実施年月日を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。なお、当該検査を実施した月のみ実施年月日を記載すること。ただし、本剤の初回投与に当たっては、必ず当該検査の実施年月日を記載すること。 ✓ その他:なし 		

製造中止・回収・出荷調整等情報

医薬品名	【内容】理由	今後の対応
(院外) アンカロン錠 100	【販売中止】 採算が見込めないため 在庫消尽時期:2026年5月	・my webへ掲載済(代替薬は資料に掲載)
(院外) マイザークリーム 0.05%	【販売中止】 採算が見込めないため 在庫消尽時期:2026年7月ごろ	・my webへ掲載済(代替薬は資料に掲載)